

メッセージ 6

主の回復におけるリーダーシップ

聖書：ネヘミヤ 8:1-10 . 13:14, 29-31 . マタイ 20:25-28 . 23:8-13 . ヘブル 13:7

- ・神の新約エコノミーの中で、また主の回復の中で、リーダーシップは霊的な度量にかかっています。リーダーシップは職務上の、永久の、組織的な、階級制度のものではありません テサロニケ 1:5 . 2:1-14 . 5:12-13 . ヘブル 13:7, 17, 24 :
- A . リーダーシップに対する主の観念は、天然の観念と相対します。神の民の間に、實際上、天然の意味でのリーダーシップはありません マタイ 20:25-28 . 23:8-13 :
- 1 . 神の新約エコノミーにおいて、リーダーシップは奴隷を意味します。リーダーになるうとする人はだれでも、進んで奴隷にならなければなりません マルコ 10:35-45。
 - 2 . リーダーシップは命における成長によって形成され、必要によって生み出されたものです。必要がなければ、リーダーシップが現れることはあり得ません ペテロ 5:1-3。
 - 3 . リーダーシップに対する人の観念を脇に置くために、神は彼の民の間のリーダーシップが、常に霊的度量に依存すべきであることを決めました 使徒 13:2, 9 . 14:12 . ガラテヤ 2:11-14。
 - 4 . 主の回復の中に組織的なリーダーシップはなく、統一する組織はありません。むしろ、一つのかしらがあってすべての肢体に直接、命令を与え、一つの有機体であるからだがあります エペソ 1:22-23。
- B . 新約によれば、使徒たちの権威は霊的なものであり、彼らの言葉の務めの中にあります 使徒 2:42 . コリント 13:5-6 . テサロニケ 2:13 :
- 1 . 召会の事務に干渉する地位上の権威はありません。彼らが供給する言葉にのみ権威があります コロサイ 4:16 . ヘブル 13:7。
 - 2 . 諸召会が使徒たちに従うのは、使徒たちに新約の教えがあるからです ピリピ 2:12 . 使徒 20:17-36。
 - 3 . もし召会がそれたり誤って導かれたりすると、使徒たちには、権威のある神の言葉にしたがってその状況に対処する義務と責任があります 26-27 節 . コリント 10:6 . テモテ 1:13 . 4:2。
 - 4 . リーダーシップは使徒たちの教えの中で生み出され、強められ、制限されます テトス 1:9。
- C . 新約には一つのリーダーシップを伴う一つの務めがあります 使徒 1:17, 25 . コリント 4:1 :
- 1 . 今日のキリスト教が分裂しているのは、多くのリーダーシップがあるからです。
 - 2 . 務めが一つであるので、一つ以上のリーダーシップがあってはなりません。
 - 3 . 一つのリーダーシップがあるのは、神、主、その霊がみな一つであるからです エペソ 4:4-6。
 - 4 . 一つのリーダーシップは、からだのためにその霊の一を保つためです 3 節。
 - 5 . 新約は、務めの中で導いている者における神の代理権威、建造するための権威を見せています コリント 13:10 :
- a . 神の代理権威は導く者の教えの中にあります コリント 4:17 後半-21 . 7:17 後半 . 11:2 . 16:1 . テサロニケ 3:6, 9, 12, 14。
 - b . 至る所のあらゆる召会で同じ事を教えることは、パウロの代理権威の明示でした コリント 4:17 後半。

- c . 新約の務めにおけるリーダーシップは、新約の務めの中で導く者以上に、新約の教えにあります 使徒 2:42 . テモテ 3:10。
- 6 . 新約の務めにおけるリーダーシップは、制御する啓示のリーダーシップであって、制御する人のリーダーシップではありません 使徒 26:19 :
- a . 主の回復の中で、わたしたちは啓示をもたらす人を通して、一つの務めの中で一つの制御する啓示のリーダーシップを持っています エペソ 3:3-5。
- b . 主の回復におけるリーダーシップは、神の与えた啓示のリーダーシップです。この啓示はわたしたちを抑制し、方向づけ、制御して、混乱や分裂を避けさせます 箴 29:18 前半。
- . エズラ記とネヘミヤ記という回復の書の中心的で重要な点は、正常で適切なリーダーシップです ネヘミヤ 8:1-10 :
- A . ネヘミヤやエズラのような人のリーダーシップの下ではじめて、イスラエルは再構成されて神の証し、地上での神の表現となることができました。これは今日、神が召会に対して願っていることの予表です 13:14, 29-31 . テモテ 3:15。
- B . ネヘミヤは完全な指導者、人類歴史で最上の指導者でした。わたしたち、特に召会の指導者が、彼の模範を考えることは確かに価値があります ネヘミヤ 5:19 . 13:14。
- C . ネヘミヤは支配者でしたが、野心は全くありませんでした。これは、国を再構成することで、彼がエズラの必要を承認した事実で示されます 8:1-10 . ピリピ 2:3-4 :
- 1 . ネヘミヤは、エズラがいなければ、神の民を再構成することはできないことを知っていました :
- a . 国を再構成することで、ネヘミヤは自分が神の御言を知らないことを認識していました。
- b . エズラは神の御言を知っていることで有名であり、ネヘミヤは進んで彼の助けを得ました。
- 2 . 神聖な原則によれば、からだの正当な代表は常に、他の人に符合している人です コリント 1:1 . 出 4:14 後半-16 :
- a . 単独であるのは個人主義的ですが、他の人に遣わされるのは、からだの原則にしたがって遣わされることです ルカ 10:1 . 使徒 13:1-3 . ローマ 12:5 . テサロニケ 1:1。
- b . 単独で行動することは、からだの原則を破壊します。
- c . 主の回復には、からだを建造するという真の働きに対する緊急の必要があります。しかしながら、この建造する働きは、それに符合してきた同労者によってのみ完成されることができます ピリピ 2:19-22。
- D . 「主はわたしに、彼が多くの兄弟たちを備えて、奴隷仲間としてブレンディングの方法でわたしと共に仕えさせたことを見せてくださいました。わたしは、これが主のからだのための主権ある備えであり、彼の務めを完成する最新の道であると感じています」 ウィットネス・リー, 1997年5月24日。